News Release

一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関３丁目３番３号
全日通霞が関ビル５階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

平成２９年５月１日

「第７回 ユニットロードシステム検討小委員会」を開催

（一社）日本物流団体連合会(工藤泰三会長)は、４月２７日(木)、第７回ユニットロードシステム検討小委員会（座長：増井 忠幸氏 東京都市大学 名誉教授）を千代田区の全日通霞が関ビルで開催した。

当小委員会は、これまで、労働力不足、とりわけトラック運転手不足問題への対応策として「ユニットロードの推進」をテーマに、手荷役作業の実態調査アンケートを実施、昨年９月にその結果を「トラック幹線輸送における手荷役実態アンケート調査報告書」として公表する等の活動を行ってきた。

今回の小委員会では、まずこの報告書が活用された以下の２例の事例紹介が行われた。

① 「農産品物流の改善・効率化に向けて」（農産品物流対策関係省庁連絡会議　中間とりまとめ）

② 「IoT を有効に活用した全体最適なサプライチェーンシステムの構築調査事業報告書」（平成２８年度 IoT 推進のための新産業モデル創出基盤整備事業）

また、事務局より「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」における取組の現状と今後について、特に地方協議会におけるパイロット事業の進捗等における具体的事例に関して詳細な説明がなされ、最後に増井座長より、「長期的視点に基き、官民全体で物流業界の改革に取り組んでいく重要性」が力説され、新年度においても本小委員会の活動を継続し、ユニットロード化による物流全体の効率化促進に向けて引き続き取り組んでいくことが確認された。

（写真：左 小委員会　右 増井座長）

以上　事務局　新村